



2011年以来恒例の《午後のポエジア》は今年で10回目を数えます。昨年はパンデミックのため開催を断念しましたが、今年は皆様の熱意に応えて、個別に取材された朗読の動画を一まとまりの映像作品に編集し動画鑑賞会とYouTubeを通して発信するオンライン開催としました。《ポエジア》の伝統に立ち返りつつ、昨年から交流ができた〈シロンスク〉舞踊団やマンガ博物館の協力も得てお届けします。



「実演」紙芝居

- 新井藤子 & Rafał Rzepka ラファウ・ジェプカ  
『ブロンシ・ピウスツキ～遠い東の国で有名になったポーランド人の話』  
カタジナ・ノヴァク文、パウリナ・パジヂェラ絵、田村和子訳  
Broniś Piłsudski, czyli o tym, jak zostać sławnym na Dalekim  
Wschodzie, Katarzyna Nowak, Paulina Paździera, Kazuko Tamura

原版提供：日本美術技術博物館マンガ  
Muzeum Sztuki i Techniki Japońskiej Manggha  
日本語版作成：北海道ポーランド文化協会

[動画] ポーランド詩・小説の朗読：日本語



レム



スウォヴァツキ



ミツキエヴィチ

□ 松山莞太

〈生誕 100 周年記念〉スタニスワフ・レム Stanisław Lem 作  
SF 小説『ソラリス』『夢』より 沼野充義訳

1 ◆ 菅原みえ子 [5:33]

ズビグニェフ・ヘルベルト Zbigniew Herbert 詩  
「母とその息子」「母」「おばあちゃん」栗原成郎訳

2 ◆ 氏間多伊子 [5:46]

ユリウシュ・スウォヴァツキ Juliusz Słowacki 詩「頌歌」工藤正廣訳

3 ◆ 村田譲 & 熊谷敬子 [9:10]

アダム・ミツキエヴィチ Adam Mickiewicz 叙事詩『パン・タデウシュ』  
第三の書「大人のおふざけ」より(私家訳)

4 ◆ 小笠原正明 [0:47]

〈生誕 200 周年記念〉ツィプリアン・カミル・ノルヴィト Cyprian Kamil Norwid 詩  
「…永遠の勝利のあかつきに、灰の底ふかく／さんぜんたるダイヤモンドの残らんことを」  
戯曲『舞台裏にて』より 川上洸訳

5 ◆ 長屋のり子 [音声][13:10]

ヴィスワヴァ・シンボルスカ Wisława Szymborska 詩「可能性」工藤幸雄訳  
自作詩「凜として美しい詩人シンボルスカを仰いで」  
浅野由美子版画作品「可能性～個人的なユートピア」ほか [映像]

6 ◆ 霜田千代麿 [8:21]

ズビグニェフ・ヘルベルト詩「我思う氏(パン・コギト)の終末論的予感」栗原成郎訳

◇ 北海道フォークダンス連合会 富田幸子ほか [1:48]

ルブリンのポロネーズ No.2



ヘルベルト



ノルヴィト



シンボルスカ



[動画] 俳句、ポーランド詩・童話の朗読：ポーランド語

- 1 ■ Hiroshi Kawamura, Aki Kawamura i Renata Szarek  
河村裕、河村明希カリナ & レナタ・シャレック [5:00]

Czesław Miłosz チェスワフ・ミウオシュ訳 『Haiku 俳句』(対訳)



ミウオシュ



トゥヴィム

- 2 ■ Rafał Rzepka ラファウ・ジェプカ [3:08]

Julian Tuwim ユリアン・トゥヴィム詩  
「Lokomotywa 蒸気機関車」

- 3 ■ Ewa Kowalska エバ・コワルスカ [1:55]

Jan Brzechwa ヤン・ブジェフファ詩  
「Na straganie 野菜売り場で」



ブジェフファ



ヤホヴィッチ

- 4 ■ Michał Mazur ミハウ・マズル & Kentaro Saito 齋藤健太郎

Jan Brzechwa 詩「Katar 鼻炎」[1:31]  
Stanisław Jachowicz スタニスワフ・ヤホヴィッチ詩  
「Chory kotek 病気の猫」[1:58]

- 5 ■ Remiria Sato 佐藤レミア [4:49]

Jan Brzechwa 詩「Chrząszcz カブトムシ」  
Hymn Polski (ポーランド国歌)

[動画] 音楽・詩：対訳



ショパン

1 ● Liliana Kowalska リリアナ・コワルスカ (ピアノ) [2:17]

Fryderyk Chopin フレデリック・ショパン  
Walc Des-dur Op.64-1 ワルツ第6番 変ニ長調

2 ● Sylwia Olejarz オレーヤージュ・シルヴィア & Yutaro Yamamoto 山本悠太郎(訳)

『Wiersze Anny Świrczyńskiej アンナ・シフィルチンスカ詩集』より(対訳) [10:35]



シフィルチンスカ



ポーランド軍団  
を率いるドンブ  
ロフスキ將軍

3 ● Yumeko Kawamoto 川本夢子 & Marek Krawczyk マレク・クラフチック (ピアノ)

Mazurek Dąbrowskiego (Hymn narodowy)  
ドンブロフスキのマズルカ(国歌) [0:42]  
Fryderyk Chopin Fantazja Impromptu cis-moll Op.66  
幻想即興曲 嬰ハ短調 遺作 [5:11]  
Nokturn Es-dur Op.9-2 ノクターン第2番 変ホ長調 [4:03]



ターボ

4 ● Barbara Kazui 数井バルバラ (ギターと唄)

Renata Przemyk レナタ・プシェミック唄  
「Babę zesłał Bóg 女は神さまの贈りもの」[1:57]  
Turbo ターボ唄  
「Jaki był ten dzień それはどんな日だったか」[1:40]



プシェミック

〈特別オンライン公演〉 民族舞踊

◇ Zespół „Śląsk” – Orawa, muzyka: Wojciech Kilar,  
choreografia: Juraj Kubanka, kostium: Górali Orawskich

〈シロンスク〉舞踊団 『オラヴァ』 最新版 2021 [9:36]

- 音楽: ヴォイチェフ・キラール
- 振付: ユライ・クバンカ
- 衣装: オラヴァ地方のグラル人(山の民)



キラール音楽、クバンカ振付の『オラヴァ Orawa』では〈シロンスク〉舞踊団のバレエアーティストたちが並外れたダンスの多様性を明示しています。この並外れたグラルダンスはフォークダンス文化の起源を示しており、70年近くに及ぶ名声を誇る〈シロンスク〉舞踊団の質の高いフォークロア舞台構成の一例でもあります。本作品は、音楽とダンスの両方の観点からスラブ文化の特徴を完全に反映しています。舞踊団のアーティストによる『オラヴァ』の振付の世界初演は2002年3月15日ワルシャワ大劇場で行われ、それはこの作品のために創られた世界最初の振付アレンジメントでした。本作は今日まで〈シロンスク〉舞踊団のレパートリーにとどまり、ダンサーの芸術性が高く評価されています。

